

わかもの
こども若者★いけんぷらす
いけんひろば

かんきょう
～いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと～

ほうこくしりょう
報告資料

かいさい
令和5年10月13日～11月6日（アンケート開催）
令和5年11月10日（オンライン開催）

2023年度「こども若者★いけんぷらす」事業

目次

1. いま、そして、これからの^{かんきょう}環境問題や社会について思うこと
2. 環境問題を学ぶことについて
3. ごみ問題とリデュース、リユース、リサイクルについて
4. 環境問題に対する行動について



かい さい がい よう 開催概要 (アンケート)

テーマ	いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと
担当省庁	環境省
開催日時	令和5年10月13日(金)～11月6日(金)
開催方法	Googleフォームを用いたWEBアンケート調査
参加対象者	ぷらすメンバーのうち小学生世代から大学生世代
回答数	<ul style="list-style-type: none"> 有効回答数：104件
テーマ説明	<p>気候変動をはじめとする環境問題は、現在だけでなく将来世代の生活をも左右する社会課題であり、こども・若者をふくめた幅広い世代の思いを受け止め、希望が持てる将来社会(持続可能な社会)をつくっていくことが大切です。こども・若者の声を聴き、政策への反映やこども・若者世代の意識の向上と取組促進の好循環につなげていきたいと思っています。</p>



かい さい がい よう 開催概要 (オンライン)

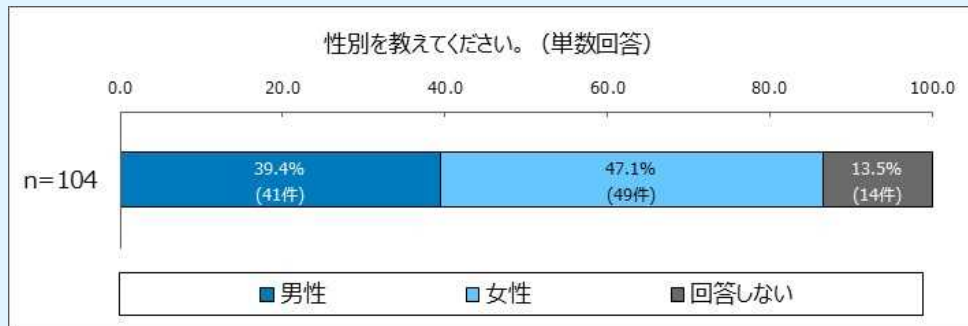
テーマ	いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと
担当省庁	環境省
開催日時	令和5年11月10日(金) 18:00~20:00
開催方法	Webex (オンライン)
参加対象者	ぷらすメンバーのうち小学生世代から大学生世代
参加人数/グループ数	○1班 小学生世代 3名 ○2班 中学生世代 2名 ○3班 高校生世代 4名 ○4班 大学生世代 2名
テーマ説明	気候変動をはじめとする環境問題は、現在だけでなく将来世代の生活をも左右する社会課題であり、こども・若者をふくめた幅広い世代の思いを受け止め、希望が持てる将来社会(持続可能な社会)をつくっていくことが大切です。こども・若者の声を聴き、政策への反映やこども・若者世代の意識の向上と取組促進の好循環につなげていきたいと思っています。



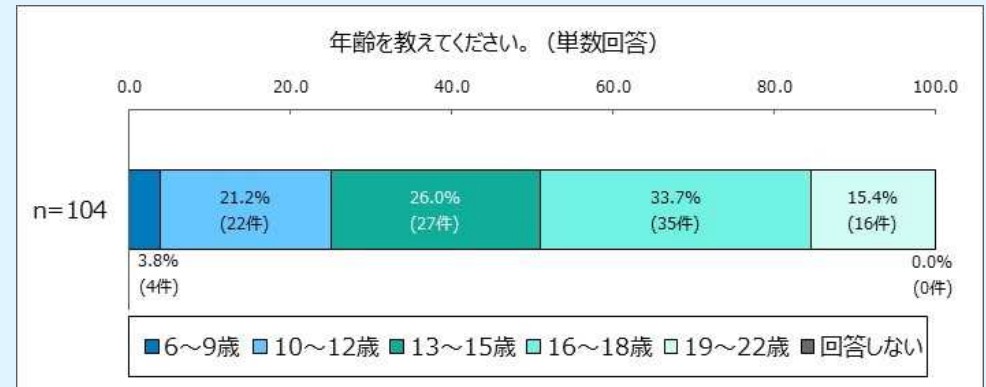
回答者概要

アンケート

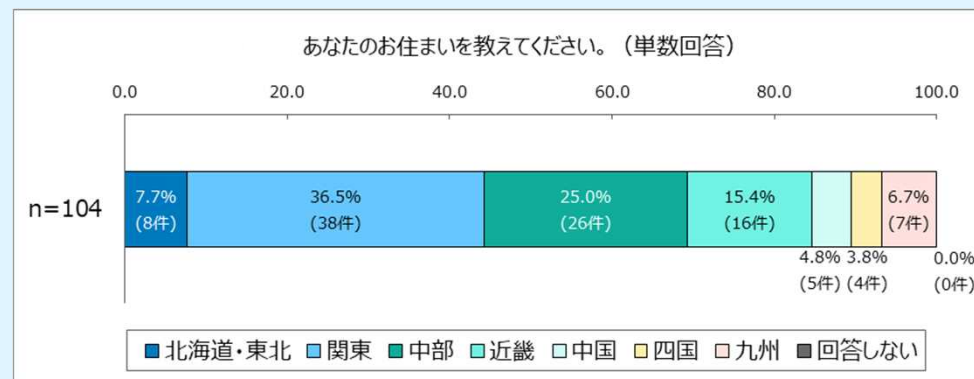
Q. 性別を教えてください。



Q. 年齢を教えてください。



Q. あなたのお住まいを教えてください。



Q1-1. 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか。

良くなっている

- アメリカや中国など、世界の大きな国がもっと環境に良いことをしたり国民に促すようなシステムを作ったとしたら、ある程度は良くなっていると思う。それでも地球温暖化は進んでいるのではないか。
- 今より多くの方が環境に対して意識して生活できていると思う。
- 環境問題に取り組めば良くなっていると思う。
- 二酸化炭素が新しいエネルギーになっているといいなと思う。
- ごみを拾うロボットができると思う。
- ゴミ箱が増えていると思う。

今と変わらない

- 今よりも対策は進んでいるが、被害状況はあまり変わっていないと思う。
- 今とあまり変わらないと思う。エネルギー革命などが起きない限り、いくら企業や少数の人が頑張ったところで、戦争を始めとする分断や、多数派の人々の関心の無さが原因で特に前進しないと思う。
- 頑張れば、今の環境が続けられると思う。
- 企業や個人に環境の意識が今より浸透するとは思いますが、環境が良くなるとは思えない。

人々の意識次第

- 悪くなっていると思う。でも、今の私たちが頑張れば、良い方向に行かないにしても環境破壊を緩やかにすることはできると思う。
- 消費者である私たちの意識次第だと思う。今後も経済的な側面を重視して安い商品の大量生産を続けると、どのような対策をしてもますます環境は悪化すると。消費者の意識が変われば、ニーズが変わり生産者側の意識も変わると思う。そうすることで生産消費のシステムが変わり、30年後の世界の環境は少し改善されると思う。
- このまま行けば、生き物が絶滅し、工場が人手不足になり、政治が活発ではなくなる。しかし、今、対策をしっかりとできれば未来は明るいと思う。



Q1-1. 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか。

悪くなっている

- 今より悪くなっていて、責任の所在が分からなくなると思う。
- 私たちの世代が、将来の世代になぜ何も行動を起こさなかったのかと責められつつ、過酷な地球環境の中で知恵を絞りながら生活している環境になっていないことを願っているが、それが1番現実的かとも思う。
- このまま進んでいき最悪な環境が出来上がると思う。
- 住めない地域が増えていきそう。
- 今よりもっと生活しづらくなっていると思うが、じわじわと進行してあまり気づけないのではとも思う。
- 対策が進めば若干の悪化で済むと思うが、このままでは気候変動やブラゴミなどの問題は悪化していくばかりだと思う。
- 今は田舎にたくさんある緑が少なくなってしまうと思う。また、都会の方が環境への配慮などが大きく、都会の方が緑が多そう。実際に田舎の少し発展しているところでは、そういった現象が起きている。
- このままいくと最悪。夏は暑く、冬は寒い。ごみが大量にあり、資源は底を尽きる。今未来のことを考えるのが怖くて、エコでない行動をしてしまう。
- 食糧価格の高騰や異常気象の悪化など、悪い未来しか想像できない。

地球温暖化が進行している

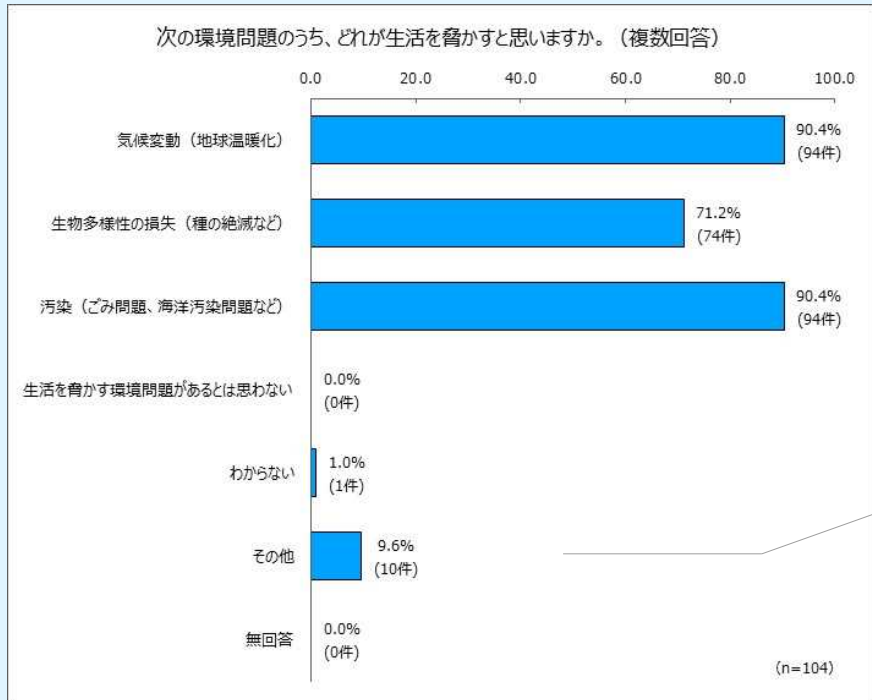
- 気候変動などが酷さを増し、住みづらい地球環境になっていると思う。
- 環境汚染がさらに進み、地球温暖化が悪化していると思う。
- 温暖化が進んで生物多様性はとても失われていると思う。
- 温暖化が進み、干ばつが増えて生き物がたくさん減ることになると思う。
- さらに温暖化が進み、干ばつや洪水などの被害が増え、めちゃくちゃな環境になると思う。
- 地球温暖化が進み、今よりは確実に悪くなってしまっていると思う。しかしオゾンホールや大気汚染などの問題は少しずつ改善していくと思う。
- 春夏が短く、夏冬が長くなり、猛暑、極寒の季節になると思う。
- 今よりも夏の気温が上がって、台風の時のように、暑すぎて休校になる日が出てくると思う。
- 今でさえ暑くて暑くて冷房を使い、その冷房がまた地球温暖化を悪化させている。それでも木は切られ、開発が進むばかりで都市部の空気は汚れ、人間の質も落ちて、次の時代の中心部はやはりAIになってしまうのかなと思っている。



1. いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと

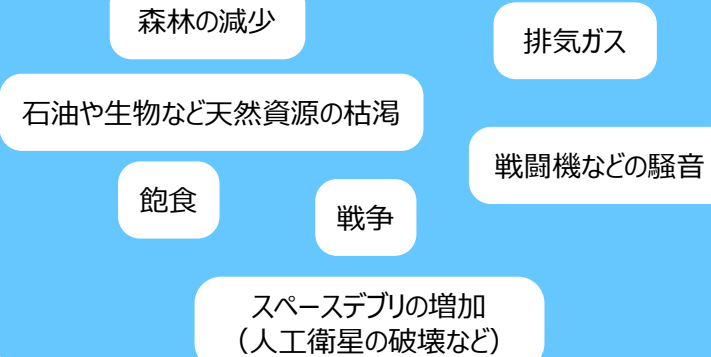
アンケート

Q1-2. 次の環境問題のうち、どれが生活を脅かすと思いますか。

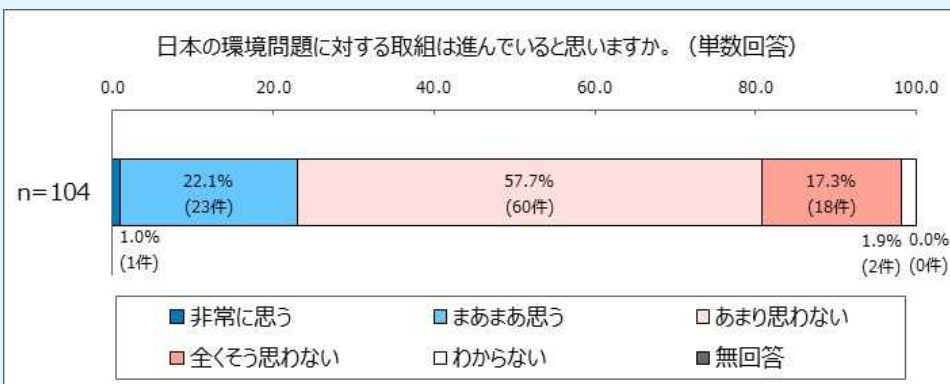


- 「気候変動 (地球温暖化)」と「汚染 (ごみ問題、海洋汚染問題など)」が並んで最も多く (90.4%)、その次に「生物多様性の損失 (種の絶滅など)」が続きました (71.2%)。
- 「生活を脅かす環境問題があるとは思わない」は0.0%でした。

その他の内容



Q1-3. 日本の環境問題に対する取り組みは進んでいると思いますか。



- 「あまり思わない」が最も多く (57.7%)、次に「まあまあ思う」 (22.1%) が続きました。
- 「あまり思わない」「全そう思わない」と取組が進んでいると思わない意見が回答全体の75.0%となりました。



1. いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと

Q. 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか。

地球温暖化が進行

- 地球温暖化が進んで、北極の氷が解けて無くなるかもしれない。また、アフリカで干ばつが酷くなり、食料が育たなくなって国連も手に負えない状況になっているかもしれない。(小学生)
- 二酸化炭素を増やしすぎたせいで地球温暖化になっている。北極の氷が解けないようにするためには、二酸化炭素を増やさないと心をかけた方がいいと思った。(小学生)
- いつか北極にいた動物たちはいなくなって、動物園でしか見られなくなるのかもしれない。(中学生)
- このままのペースだと海面上昇で島が水没して、国が消えたりするのかなと思う。(小学生、中学生)
- 平均気温が高くなっていると思う。暑い日は45℃くらいになっているかもしれない。その影響で生き物が今よりいなくなっていそう。農業も出来なくなって、食べ物的人工的なものになっていそうで怖い。(中学生)
- 気候変動を見ると気温が上がっているのは明らか。夏がより暑くなると、日本でも熊谷あたりだけではなく他の地域でも40℃を超えていくことになる。そんな場所で人間は暮らしていけるのかという課題意識がある。夏の環境を想像すると、家にこもる人が多くなるのではないかと。散歩しているお年寄りや子どもたちも、熱中症のリスクが高くなって夏は見られなくなるのかもしれないと思う。暑くなると自然災害のスケールも大きくなる。(大学生)

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁



気候変動により環境が変化

- 風の流れや潮の流れが変化するという。ニュースで潮の流れが変わったことにより、伊勢海老が三重県ではなく、静岡県で取れたと聞いた。潮の流れの変化などに産業は次第に順応すると思うが、一次産業は適応することに時間がかかると思う。今と異なるものが育ったり、取れたりするのかもしれない。産業が環境の変化に適応する方法も考えていく必要があると思う。(高校生)
- 30年後の世界の環境について、いいイメージはない。ここ数年でも環境変化のニュースが多いので、30年後は地球の気温が上がって沖縄の生物が本州に生息したり、感染症が流行ったりしているなど変わっていそう。現在の国のトップの方は30年後を考えた政策までは考えていないと思う。(高校生)



1. いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと

オンライン

Q. 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか。

環境に配慮した規制が強化

- 現在でも、企業・個人どちらに対しても、ガソリン車を販売しない、レジ袋やビニール袋は有料化する、などの環境に配慮した規制が増えている。国民の生活が窮屈になっていくのではないかと。(高校生)

人口動態により自然環境が変化

- アフリカなどでは人口が爆発的に増えて、限られた土地を広げるために森林伐採が進行してしまうと思う。(中学生)
- 日本は少子高齢化で人口が減っているため、30年後には動植物が過ごせる場所が増えているかもしれない。(大学生)
- リモートワークが増えて田舎に引っ越す人が増えたというニュースを見た。ただ、田舎に引っ越すと田舎の自然を壊すことにならないか。人口増といういい面はあっても、自然の側面での懸念や、コミュニティがぎくしゃくしてしまうのではという懸念がある。(大学生)

ごみ問題が進行

- 海にごみが大量に流されて溜まり、環境資源が無くなっていると思う。(小学生)

国・地域により環境問題に差

- 先進国と発展途上国で違いが出ると思うので、世界全体で環境が良くなるイメージはない。発展途上国の人口は増えるので、環境問題への意識よりも生活していくことが重視され、石炭など環境に配慮しないものを使用することがあると思う。(高校生)



人々の意識次第

- 環境はあまり改善されていないと思う。しかし環境問題に取り組む姿勢は改善されると思う。今の子どもたちが環境問題について教育されているので、環境問題に関心を持つ若者が増え、将来的には環境問題に取り組む姿勢は高まると思う。一方で、今まで壊してきた環境を取り戻すことは難しい。やはり環境保全より経済的な事情を重視する場面が多いので、環境が完全に回復するのは難しいと思う。(高校生)
- 人間が普段から環境に配慮し、SDGsをがんばれば、今と変わらないくらいには世界の環境は維持できると思う。(小学生)



1. いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと

Q. 環境問題に生活を脅かされると感じたことはありますか。

オンライン

こどもまんが
こども家庭庁

地球温暖化の進行

- 熱中症で死者も出ている。夏は危険。(小学生)
- 暑いと外に出たくないと思い、自分の行動が制限されることに驚きを感じた。夏休みに学校に行く日は、暑いアスファルトの照り返しも強い。日焼けも嫌なので、外に出ることにネガティブなイメージがついた。外に出る機会や楽しさが減ってしまった。(中学生)
- 熱中症で救急車で運ばれる人を見たり、光化学スモッグの問題があったり、暑さで虫が干からびているのを見たりする。周りの光景が一見普通に見えて、死んでいるのが嫌だと思う。冬の感染症も脅威だが、それは人間だけに影響があるもの。夏の脅威は、人間を支える生物がいなくなってしまうかもしれないところ。人間に対する医療が発達しても、他の生物が危機にさらされていると、このままでは地球が減びるのではないかと感じる。(中学生)
- 数年前より暑くなった。昔は夏休みに外で遊べたと聞くので、今後もっと暑くなると思うと生活が脅かされていると感じる。(高校生)
- 小学生の頃は夏でもエアコンがなくても過ごせていたのに、今はエアコンがない生活は考えられない。設定温度を低くしても涼しくならないし、暑さでエアコンが壊れてしまうこともある。文明の利器が気候に追いついて行けないのが不安である。(大学生)
- 最近の異常気象を見て思うが、年々気候変動が進んでいると感じる。ヒートアイランド現象でかなり暑くなっている。(大学生)

気候変動の進行

- 集中豪雨により避難指示が出た時に、気候変動がおきているなと思った。ニュースでも集中豪雨の影響で水道や電気が止まるケースが多く取り上げられており、身近な問題だと思っている。(高校生)
- 少し郊外にあるコンビニに行ったところ、「電力ひっ迫のため電力を落としています」と張り紙があり、真っ暗でびっくりした。(大学生)

プラスチック問題

- 魚がプラスチックを食べて、人間がその魚を食べると体に悪い。(小学生)
- 学校の近くに海があるが、プラスチックが流れついているのを見ると海洋汚染の深刻さを感じる。海岸清掃に積極的に参加して学校で呼びかけをしたり、商品開発のプロジェクトを実施したりしているが、みんなの環境問題に対する意識を上げることが難しいと思っている。(高校生)
- レジ袋が自由にももらえなくなったこと。これまで普通に置いてあったストローがなくなっており、店員に言わないと紙ストローがもらえない状況になっている。(大学生)



1. いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと

Q. 環境問題に生活を脅かされると感じたことはありますか。

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

身の回りの緑や自然環境

- マンションの清掃で、土の上に落ちた葉っぱに風を当てて掃除しようとしているのを見ると、そのまま残して肥料にすればいいのと思う。公園も癒しの場だったのに、枝や葉っぱが切られてしまっている。どうしてそこまでして木を切りたがるのか疑問。身の回りの自然を大事にしてほしい。私たちの生活も元をたどれば、ミズがないと土も育たないし、連鎖しているものを大事にしてほしい。(中学生)
- 都市には緑が少なく木陰が少ない。自分の地元だと、地主の家にあった屋敷林や、自分の家の周りにあった木陰が全て伐採されてしまった。地図アプリの航空写真で自分の住む町を見ても、近隣がはげ山だらけになってしまった。こどもの頃と比べても木陰が少なくなって、生活を脅かされている気がした。(大学生)
- 家の裏が山になっている。すごく緑が豊富だったのだが、竹や木が知らない間に伐採されていた。竹は、大雨の際には自然のダムとして頑張ってくれていたが、今は伐採されたので泥水が出てくることあり、土砂崩れが心配。(大学生)

ごみ問題

- 自分の学校付近は人通りが多くて、ポイ捨てごみが多い。(中学生)

動植物・生態系の変化

- 小さいころ、沖縄の島にサンゴ礁を見に行ったことがある。数年後にテレビで同じ島を見たとき、そのサンゴ礁がなくなっていて衝撃を受けた。(中学生)
- 私が住んでいる地域では養殖業が盛んだが、最近では海の調子が良くないと聞いた。周りに漁業に従事している人が多く、育てた貝を8割も捨てたことがあったり、捨てるために貝を取ったりすると聞いた。地域人口も少なく、漁業は厳しい状況であると聞く。(高校生)
- 最近熊が人里に下りてきている問題について、母親の知り合いが山の上でレストランを経営している中、猪に畑の野菜を食べられる被害が深刻らしい。そういうことがあると、おじいちゃんおばあちゃんにできることが体力的にも限られるのでますます過疎化が進み、人がいなくなることで里山の荒廃が進んでいくと思う。(大学生)
- 人間だけではなく動植物もダメージを受けている気がする。自分たちは生態系から得られる利益である生態系サービスの上で生きている。例えば土は、川があふれても雨水が浸透して「緑のダム」の役割を果たす。しかし、今の河川の周りはコンクリートなので、水があふれてしまい水害につながる。(大学生)



1. いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと

Q. 日本の環境問題に対する取り組みは進んでいると思いますか。

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

取組が進んでいると思うか

進んでいない

- そこまで進んでいないと思う。前に参加するとドリンクがもらえるごみ拾いイベントがあった。このようなSDGsの取組がもっと進めばいいと思う。(小学生)

よくわからない

- 環境に関するポジティブなニュースはあまり聞かないので、取組をよく知らない。(中学生)

他国と同じくらい

- 日本の環境問題への取組は、他国と同じくらいだと思う。SDGsに取り組みようとしているが、もっとがんばれば他国を追い越せるかもしれない。(小学生)

進んでいると思う取組

プラスチック使用の削減

- ストローがプラスチックから紙になったり、ビニール袋が有料になったりという身近な取組は知っている。(中学生)
- ビニール袋有料化でマイバッグを持つ人が増えたのを見て、人はお金で動くんだなと思った。(中学生)
- スーパーではマイバックが普及しており、プラスチックの袋を持たなくてよくなった。(高校生)

ごみの削減

- 空港のチケットを紙ではなくアプリで表示するなど、ペーパーレス化が進んでいる。(高校生)
- ごみを出さない生活が増えたと思う。(高校生)

改善した方が良く思う取組

プラスチック使用の削減

- ごみ袋として使うためにレジ袋を購入する人が多いらしく、結局プラスチックごみは減っていないのではないかなと思う。国が考えた取組ではあるものの、抜本的な解決にはなっていないのではないかな。目先のプラスチックごみは減るかもしれないが、それだけでは大きな環境問題すべては変わらない。また、数年前まで森林伐採を気にしていたのに、今では紙ストローが推進されているのも心配になる。プラスチックの減少と森林伐採の減少の両方がうまくいこうとしないと、環境問題の解決は難しいと思う。(大学生)
- 他国はレジ袋を禁止しているが、日本はただ有料にしているだけなのであまり進んでいないと思う。(小学生)



1. いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと

Q. 日本の環境問題に対する取り組みは進んでいると思いますか。

オンライン

こどもまんが
こども家庭庁

進んでいると思う取組

ごみの分別

- ペットボトルを潰して廃棄できるようになったり、ラベルのないペットボトルが売られていたりする。(高校生)
- ごみの分類がされていないとごみ収集車がごみを持っていかないなど、環境問題に対する取組は進んでいると思う。(高校生)
- リサイクルの普及が進んできていると思う。リサイクルに対応しているお店が増えている。(高校生)

環境に配慮した製品の普及

- 買い物に行くと商品にエコラベルがあり、環境に配慮している商品が増えている。本屋やスーパーでも環境に配慮した商品のコーナーがある。環境に配慮した買い物をしやすくなっている。(高校生)
- 割り箸に「成長が早い竹を使っている」と書いてあった。同じように持続可能なレジ袋やストローを考えられるといい。木は成長に時間がかかるし、森林伐採の問題もある。そこを解決できるような案があるといい。全部禁止ではなく、代替案を考えられるといい。(大学生)

動植物の保全

- 自分の住んでいる地域は林が多く、野放しにされていることがあった。自治体と協力してNPOが林を買い取り、林の環境への貢献度合いを調査したことがあった。行政が入ることによって、林の状態や環境が変わったと思う。(高校生)

改善した方が良くと思う取組

ごみの分別

- ごみの分別について、まだリサイクルボックスの普及が進んでいないと感じる。ペットボトルに中身が残ったまま捨てる人や、テイクアウトのカップを入れる人もいる。そういうごみがリサイクルできるごみと混ざると、他のものもリサイクルできなくなると思う。リサイクルに対する意識が高くないと、効果的な対応ができないと思う。(大学生)

動植物の保全

- 環境省は数が減っている動物の所管をしていて、天然記念物の数を増やす取組をしている。天然記念物は文化庁の許可がないと動かせないため、連携して保護を進める必要がある。(大学生)
- 環境省は気候変動等には取り組んでいるものの、動植物や生態系の取組が遅れている感覚がある。動植物扱う博物館や動物園、大学などの研究予算が足りない。博物館では、木を調査しようとしてもお金がなくて10年に1回しか調査できないと聞いた。また、国立公園などを管理するレンジャーというプロがいるが、日本はそうしたプロフェッショナルの数が少ない。(大学生)
- 銃やわなを扱えるレンジャーが少ないので必要。レンジャーは人と野生動物の共存や個体数調整を目指すワイルドライフマネジメント、共存のもとになるフィールドワークを行えるため、必要。(大学生)
- 野生動物に携われる獣医師・看護師や、傷ついた動物のリハビリを行うリハビリテーターも必要。(大学生)
- 博物館での生物多様性の学術サポートにはバックアップが必要で、そのために自然史博物館が必要。(大学生)

1. いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと

Q. 日本の環境問題に対する取り組みは進んでいると思いますか。

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

進んでいると思う取組

農林業の推進

- 自分は過疎地域に住んでいるが、耕作放棄地が増えていて、農業に関心がある人を都市から誘致して、耕作放棄地を畑に生まれ変わらせる取組がある。地域の資源を有効活用し、地産地消を盛んにしようという取組が進んでいる。(高校生)

環境問題に対する意識・教育

- ごみ問題の解決や、教育の中で環境問題を教える取組は進んでいる。(高校生)



改善した方が良くと思う取組

農林業の推進

- 日本は木が多い国だが、逆に杉やヒノキが多すぎて困っている。竹も増えすぎて困っており、コンクリートの家を突き破るほど繁殖力が強い。木の使い方が上手くない。企業が木造ビルを作りたいと考えていたりするのだが、木を使うということがなかなか進んでいない。木が余っている。(大学生)

環境問題に対する意識・教育

- 発電方法に関するエネルギー問題や車の二酸化炭素排出問題など、大きな課題について情報が錯綜していると思う。大きな課題についてどんな議論がされているか情報が入ってこない。例えば電気自動車 genuinely 環境にいいのかわからない。国がどのような方針を持っているかわからない。私たちの世代は新しい意見をSNSで知ることが多いが、SNSの情報は信憑性が低いので信頼できる情報が知りたい。(高校生)
- 最近環境に配慮した商品や政策などがあり、目に見える形で環境対策が実施されている。しかし、外国と比べると、環境問題に取り組む人に対する日本での世間の雰囲気には改善の余地がある。また日本では環境に良い行動を誘発する仕組みがまだないと思う。(高校生)
- 二酸化炭素排出の問題については、環境への負荷よりも経済的理由による利便性が重視され、二酸化炭素の排出が進んでいるので改善した方が良くと思う。(高校生)

2. 環境問題を学ぶことについて

アンケート

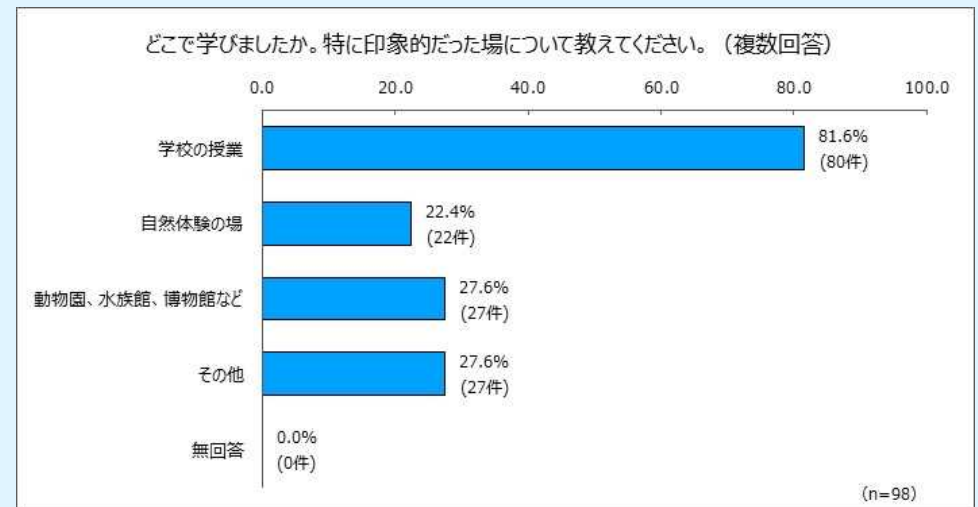
Q2-1. 環境に関することを学んだことはありますか。

- 「学んだ、学んでいる」が最も多く（94.2%）、次に「学んでいない」「わからない」（ともに2.9%）が続きました。



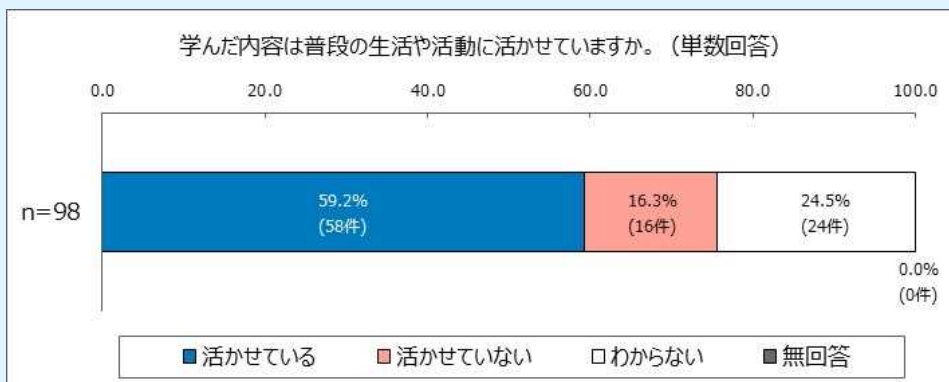
Q2-2. どこで学びましたか。特に印象的だった場について教えてください。

- 「学校の授業」が最も多く（81.6%）、次に「動物園、水族館、博物館など」「その他」（ともに24.5%）が続きました。



Q2-3. 学んだ内容は普段の生活や活動に活かしていますか。

- 「活かしている」が最も多く（59.2%）、次に「わからない」（24.5%）、「活かしていない」（16.3%）が続きました。



その他の内容

塾

テレビや新聞、ネットなどのメディア

YouTube

NPOや教育機関のWebメディア

本、図鑑

SDGsのワークショップ

ボランティア

模擬国連

市民会議

ガールスカウト

Q2-4. なぜ活かせていないと思いますか。 (Q2-3で「活かせていない」を選んだ人のみ)

学ぶだけで行動に移せていない

- 学んで大変だなとか環境^{かんきょう}について考えていきたいなどは思うけれども実際^{じっさい}に行動しているかや、生活に生かしているかを聞かれるとそうではないように思えるから。
- 環境問題^{えいきょう げんじょう}による影響^{えいきょう}など、現状^{げんじょう}などを学習^{がくしん}しただけでそのために私達^{わたし}にできることを考える時間はなかった。
- 学んだ内容^{ないよう}の規模^{きぼ}が大きすぎたため。自分の生活^{せいかつ}まで落とし込めていないから。

環境問題に対して自分に出来ることが小さい

- 小さなこと^{こと}の積み重ね^{かみかさね}が本当に生きているのかわからない。
- 環境^{かんきょう}の悪化^{あくか}に対して小さすぎるから。



手間がかかる

- 面倒^{めんどう}だから。
- お金^{かね}や時間^{じかん}がかかるから。



活かせることが少ない

- 活かせるような機会^{きかい}に出会わない。
- 活かせるような取り組み^{とり組み}などを見たことがないから。参加出来るようなものを見たことがないから。
- 自分はまだ子供^{こども}で、ソーラーパネル^{せっち}の設置^{せっち}や電気自動車^{でんきじどうしゃ}への変更^{へんこう}を願っても、親^{おや}が同意^{どうい}してくれないと行動^{こうどう}に移^{うつ}すことが出来ない。行動^{こうどう}に移せているのは節水^{せつすい}や節電^{せつでん}くらい。

2. 環境問題を学ぶことについて

Q. 環境に関して、どこで、どんな内容を学びましたか。

学校

授業

<SDGs>

- 小学校の社会の時間に「世界の環境」という学習単元があり、一般常識を学んだ。道徳や総合の時間でもSDGsを調べた。(中学生)
- 社会の研究授業で、毎回SDGs関連の授業がある。SDGsという言葉に触れる機会が多い。英語の授業でもプラスチックバッグに関する文章を読んだり、自習的に環境問題について調べたりする。(中学生)
- 英語の授業で環境問題に関する内容を扱うことがある。他の授業ではほぼない。(中学生)
- SDGsを自主学習のテーマにしたことがある。(小学生)

<3R>

- 学校で3Rを習った。学校の近くに海岸があるので、海岸の砂を使った工芸品を作ったことがある。(小学生)
- 小学校低学年でごみの分別や3Rなど、ごみを減らす取組を学んだ。中2で初めてSDGsのことを学んだ。環境については中学・高校でも授業で扱っており、学校では常に学ぶ機会がある印象。(大学生)

<地域の環境問題>

- 小中学校では一次産業に従事する人から昔の環境について話を聞く授業があった。地元で長く住んでいる人の話を聞いて、環境変化が速まっていると思った。(高校生)
- 学校で社会課題について学び、地域の環境問題を考えるきっかけになった。(高校生)

オンライン



課外活動

- 中学生の時に、自然教室という修学旅行の自然版のようなものがあった。木の保護活動をしている方から、この森はどうやって守っているか、森は自然のダムだからむやみに伐採してはいけない、などといった話を聞いた。(大学生)
- 学校の有志団体に所属していて、学校の近くでごみ拾い活動などを行っている。海問題というテーマに特化している団体なので、発表のために海に関して調べたりする。(中学生)

中学校以降で学ぶ機会

- 中学校に上がってからは、暇があったら勉強しないといけなくなり、以前よりは調べたりできていない。(中学生)
- 中学に上がってからは、環境について触れる機会が少なくなってしまった。(中学生)
- 本格的に学んだのは高校を卒業して専門学校に入ってから。領域が自然分野に偏った内容だったので、学生時代にもう少し幅広く学んでおけばよかったと思う。(大学生)

2. 環境問題を学ぶことについて

Q. 環境に関して、どこで、どんな内容を学びましたか。

学校以外の場所

学外の機関やプロジェクト

- 若者で構成される地元自治体の気候変動会議に所属して、様々な議題を扱っている。ちょっとしたきっかけでよい行動を促すナッジ理論が大事ということを学んだ。自治体の広報で会議のメンバーが募集されていて、参加した。(中学生)
- 住んでいる自治体の子ども会議に参加していて、例えば、街にごみ箱を置くかどうかなど、自分たちが今抱えている問題に対して具体的な案を議論する。(中学生)
- 環境を良くすることを目的とした習い事で、SDGsについて学んだり、海にごみ拾いに行ったりした。(小学生)
- 環境問題に関する学校外部のプロジェクトで学んだ。環境問題の講義を受けたり、プロジェクトの中で身の回りの課題を環境問題と結び付けたりする機会があった。環境問題に関わる商品開発にも携わった。研修でオーストラリアに行った際に、環境問題に関する教育も重要だと思った。(高校生)
- 沖縄県で動物保護の活動をされているところに参加したり、山に木を植えるというプロジェクトに参加したり、博物館でバイトしたりした。こういったことを通じて学びを得てきた。(大学生)

家族

- 母が環境の話に敏感で、家族にチャットツールで情報共有をしてくれる。(中学生)

オンライン

本

- 本でSDGsや環境問題について読んだ。また、別の本で食糧危機について読み、食料がどんどん減っているということだった。(小学生)
- 読書感想文の課題図書を読んだことをきっかけに環境問題に興味を持った。大学や企業の環境に関する講義を受けたり、環境に関する本を読んだりした。(高校生)

ニュース

- 小学校の成績表に「自然に関する関心意欲」といった欄があったので、ニュースを積極的に見たり、自分で調べたりした。(中学生)
- ニュースで食品ロス問題を見た。(小学生)

博物館

- ミュージアムに行った。(大学生)



旅行先

- 家族とトロントに旅行した際に風力発電や街でのごみの分別の様子を見た。ごみ箱がたくさんあるなど環境問題に対する姿勢について、日本との違いを学んだ。(高校生)

2. 環境問題を学ぶことについて

Q. 学んだ内容は普段の生活や活動にどのように活かしていますか。
活かしていない場合は、どうしたら活かそうですか。

どのように活かしているか

プラスチック利用の削減

- エコバッグを持ったり、紙ストローを選んだりしている。(中学生)
- 飲みたいものがプラスチック容器だとやめようと思うことがある。(中学生)

ごみを出さない

- 米でも胡麻でも一粒も残さないように食べている。(中学生)
- コンポストをするなど、「もったいない」を減らすように気を付けている。給食など食べ物を残さないようにしている。(中学生)
- 普段からもったいないという意識を持つようになり、ごみを出さないようになった。シャワーをするときやトイレでトイレットペーパーを使うときに使すぎないようにしている。(高校生)
- 住んでいる地域では、雨風が多くて合羽を酷使する。大変だけれど手洗いして長く使うことを学んだ。(大学生)
- 普段は多く買すぎないように意識している。(高校生)

リサイクル

- 「リサイクルできないものがリサイクルボックスに入ると、リサイクルできるものが汚れてリサイクルできなくなる」と聞いてから、リサイクルできるものは洗ってから捨てるという形で活かしている。(大学生)



オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

リユース

- 知り合いが要らない服をくれるので、気に入らなくても捨てるにバッグやクッションカバーにリメイクして楽しんでいる。要らない服をリメイクする時はわかりやすい達成感があるからいいと思う。(高校生)
- ものを長く使うことは意識。傘や合羽を洗って使うようにしたり、服が破れたら直す。服が使えなくなったら雑巾にしている。(大学生)
- 捨てられるものに価値を与えるアップサイクルを家で実践している。(大学生)

環境に配慮した商品の購入

- ものを買うときに、代用できないかなど、本当に必要かを考えるようにしている。必要なものは環境に配慮した商品を買う。親が買う物で迷っている時は環境配慮の商品を勧めるようになった。(高校生)

節電

- 気が付いたら使っていない電気をすぐ消すとか、冷蔵庫は何を取り出すか考えてから開けるなどしている。(中学生)
- 普段の生活で、使っていない部屋の電気を消す、コンセントを抜くといったことは自然にできている。(大学生)

活かしていない

- 学校の授業でゴミ処理施設の人が来てごみを減らす方法を教わったが、家族に対してそれをどう伝えるかが難しかった。(小学生)
- SDGs配慮商品を買っていないので活かしていない。(小学生)

2. 環境問題を学ぶことについて

Q. 学んだ内容は普段の生活や活動にどのように活かしていますか。
活かしていない場合は、どうしたら活かそうですか。

どうしたら活かせるか

環境へのポジティブな影響が伝わる仕組み

- 「リットルのプラスチックを分別したらペットボトルに生まれ変わる」など、行動したことによるポジティブな影響をわかりやすく伝えるようにすれば、普段の生活で環境にいい行動をとろうとする人が増えると思う。(高校生)

環境について議論できる環境

- 環境問題に取り組んでいる人が周りにいない。地域ごとに環境問題に興味がある人が集まれる場所があるといいと思う。(高校生)



オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

身近な場での環境教育

- 公民館などで学べる講座があるといい。(小学生)
- 環境問題を学んだことでプロジェクトに参加したり、積極的に問題を調べたりする人もいる。一方で環境問題について「改善しないよね」という考えの人もいる。環境問題を身の回りの問題とつなげて自分事として考えられないことが原因だと思う。環境問題について一人一人に責任があることを知っていくといい。(高校生)
- 普段の生活で活かすためには、意識を変えるしかない。授業で心動かす海や川の映像を見せたり、海や川でごみを拾うという体験をしたりしないと活かすことはできないと思う。(高校生)
- 家族が庭のある家に住んでいるので、庭で植物や野鳥を見たい。(大学生)

社会人に対する環境教育

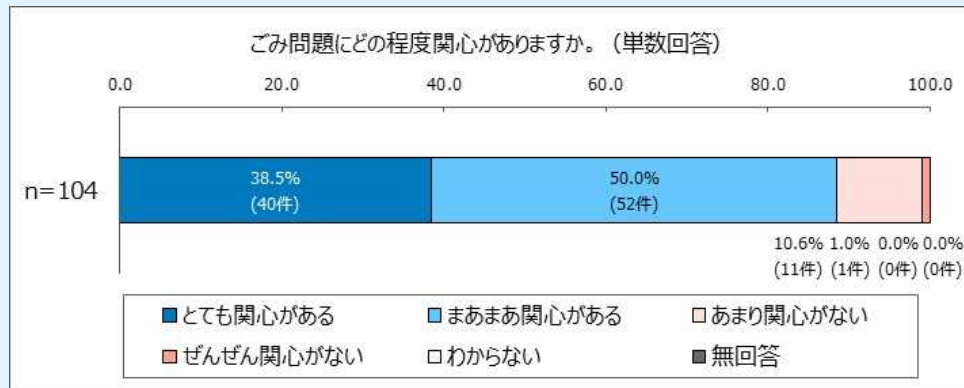
- アルバイト先でこどもが「ごみは洗ってから捨てるんだよ」と言ってくれることがあり、こどもはごみ分別に敏感だと感じる。むしろ大人が「洗わずに捨てちゃっていいんじゃない」という反応をしがち。上の世代が環境に配慮するという教育を受けていないのではないか。(大学生)

3. ごみ問題とリデュース、リユース、リサイクルについて

アンケート

Q3-1. ごみ問題にどの程度関心がありますか。

- 「まあまあ関心がある」が最も多く（50.0%）、その次に「とても関心がある」が続きました（38.5%）。
- ごみ問題に「とても関心がある」「まあまあ関心がある」人の割合は、回答者全体の88.5%でした。



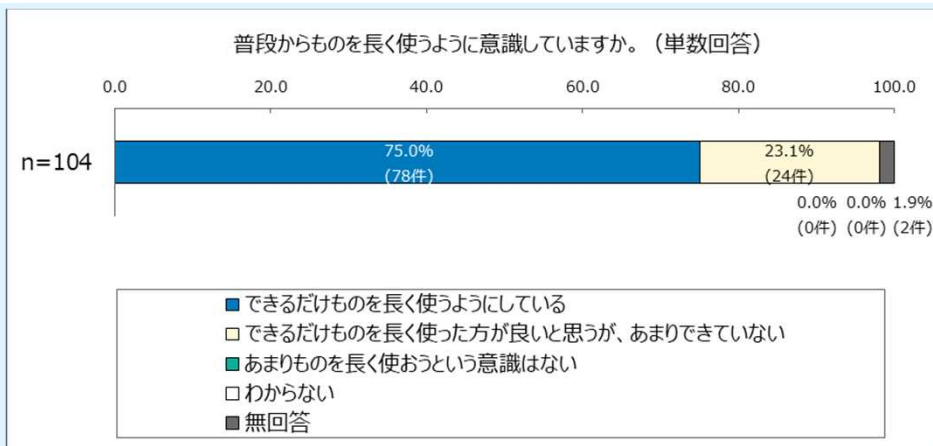
Q3-2. 普段の生活の中で、ごみについてどう考えていますか。

- 「常にはではないが、ごみを少なく、リサイクルするようにしている」が最も多く（61.5%）、その次に「常にごみを少なく、リサイクルするようにしている」が続きました（26.0%）。



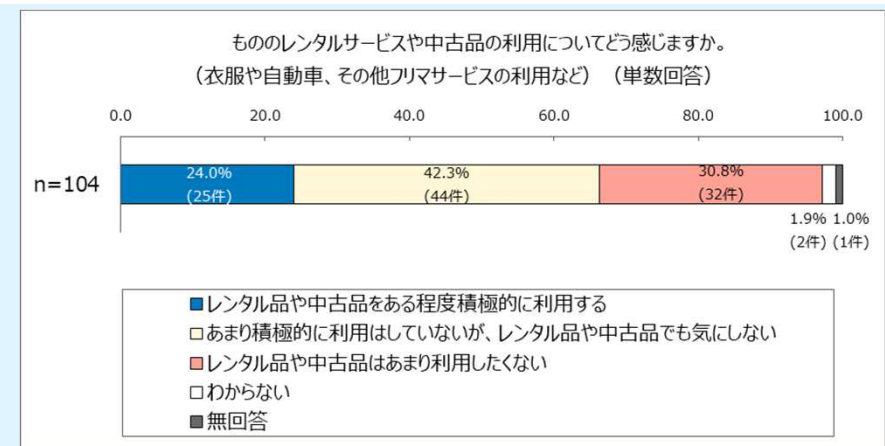
Q3-3. 普段からものを長く使うように意識していますか。

- 「できるだけものを長く使うようにしている」が最も多く（75.0%）、その次に「できるだけものを長く使った方が良いと思うが、あまりできていない」が続きました（23.1%）。



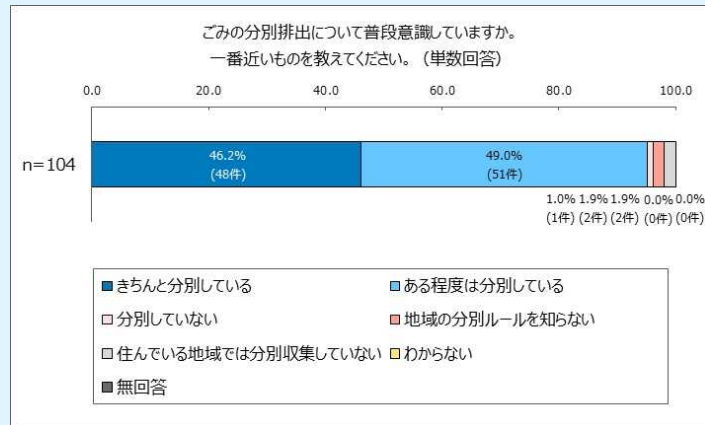
Q3-4. もののレンタルサービスや中古品の利用についてどう感じますか。

- 「あまり積極的に利用はしていないが、レンタル品や中古品でも気にしない」が最も多く（42.3%）、その次に「レンタル品や中古品はあまり利用したくない」が続きました（30.8%）。



Q3-5. ごみの分別排出について普段意識していますか。

- 「ある程度は分別している」が最も多く（49.0%）、次に「きちんと分別している」（46.2%）が続きました。
- 「きちんと分別している」「ある程度は分別している」と分別排出について意識している人の割合が、回答全体の95.2%となりました。



その他の内容

学校で行われているキャップ回収や牛乳パック回収に参加した

不用品を知人にあげている

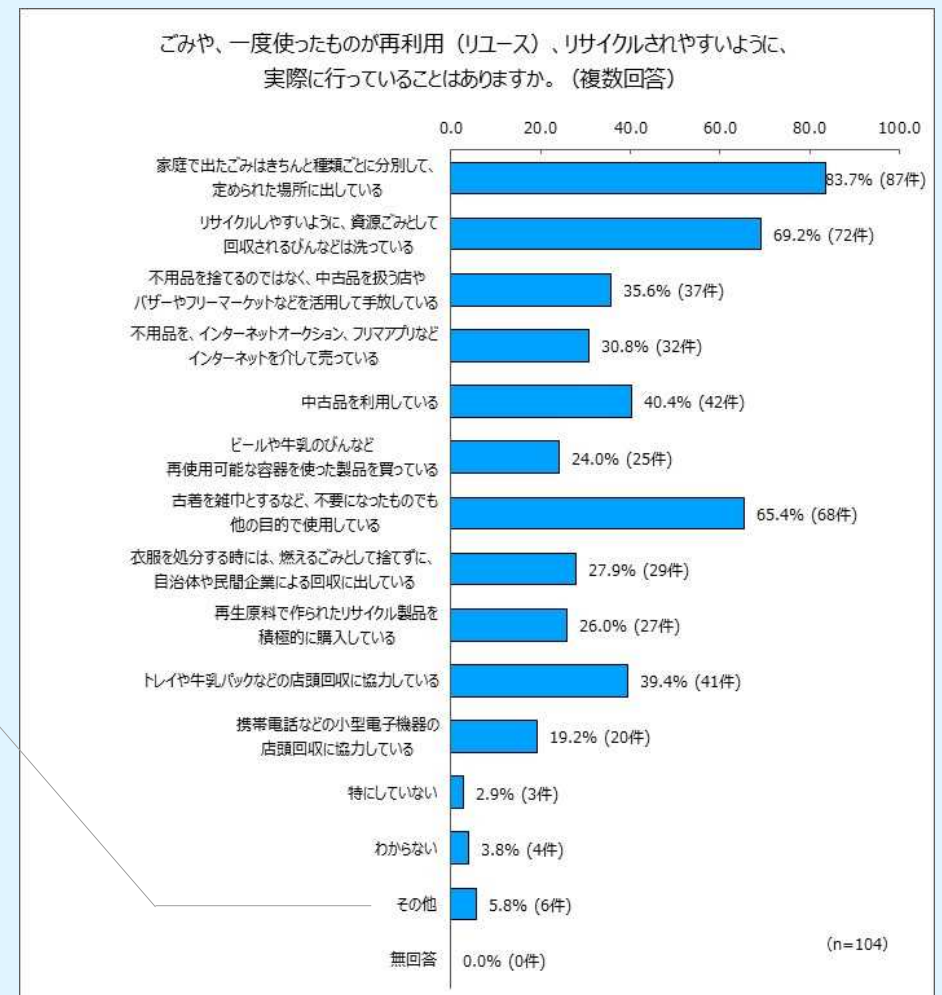
なるべく綺麗に使う

壊れても可能な限り修理して使っている



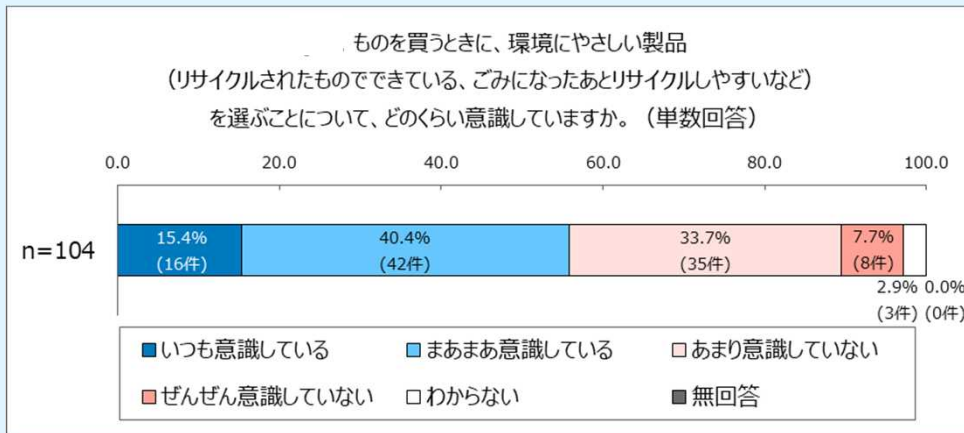
Q3-6. ごみや、一度使ったものが再利用（リユース）、リサイクルされやすいように、実際に行っていることはありますか。

- 「家庭で出たごみはきちんと種類ごとに分別して、定められた場所に出している」が最も多く（83.7%）、「リサイクルしやすいように、資源ごみとして回収されるびんなどは洗っている」（69.2%）、「古着を雑巾とするなど、不要になったものでも他の目的で使用している」（65.4%）が続きました。
- 「特にしていない」と答えた人の割合は、2.9%でした。



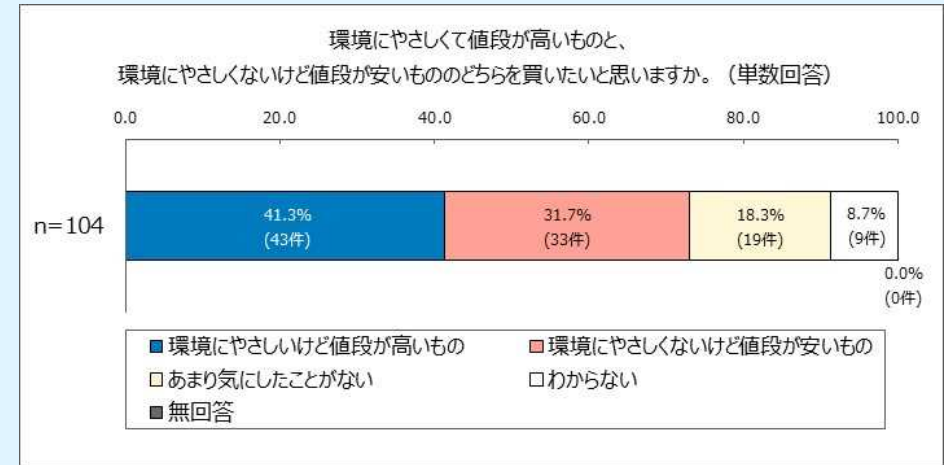
Q3-7. ものを買うときに、環境にやさしい商品を選ぶことについて、どのくらい意識していますか。

- 「まあまあ意識している」が最も多く（40.4%）、次に「あまり意識していない」（33.7%）が続きました。



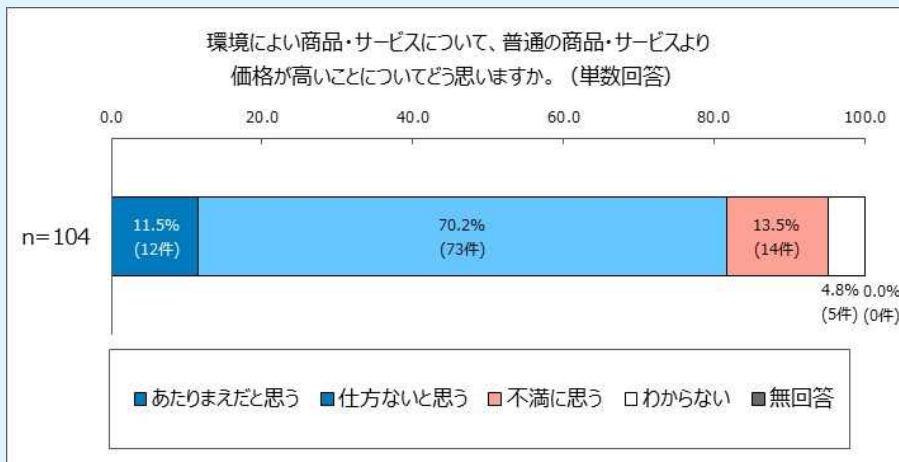
Q3-8. 環境にやさしくて値段が高いものと、環境にやさしくないけど値段が安いものどちらを買いたいと思いますか。

- 「環境にやさしいけど値段が高いもの」が最も多く（41.3%）、次に「環境にやさしくないけど値段が安いもの」（31.7%）が続きました。



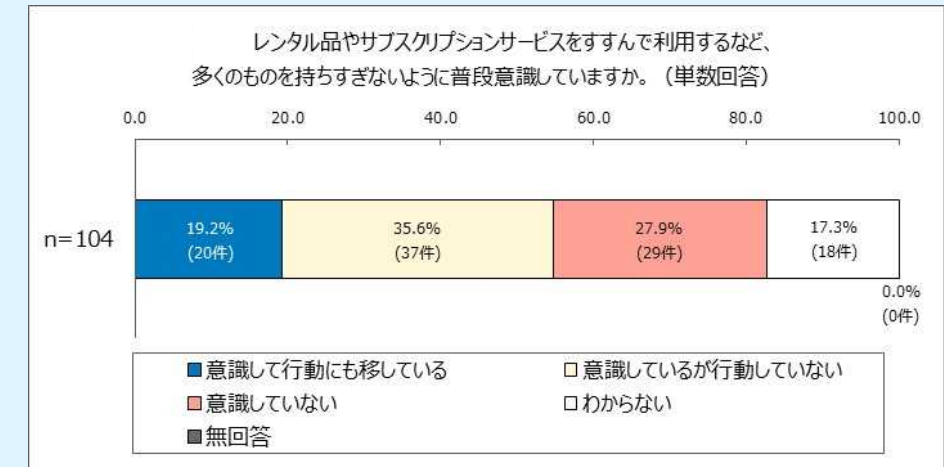
Q3-9. 環境によい商品・サービスについて、普通の商品・サービスより価格が高いことについてどう思いますか。

- 8割以上が「あたりまえ」「仕方ない」と考える（合計81.7%）一方で、「不満に思う」と回答した人が13.5%いました。

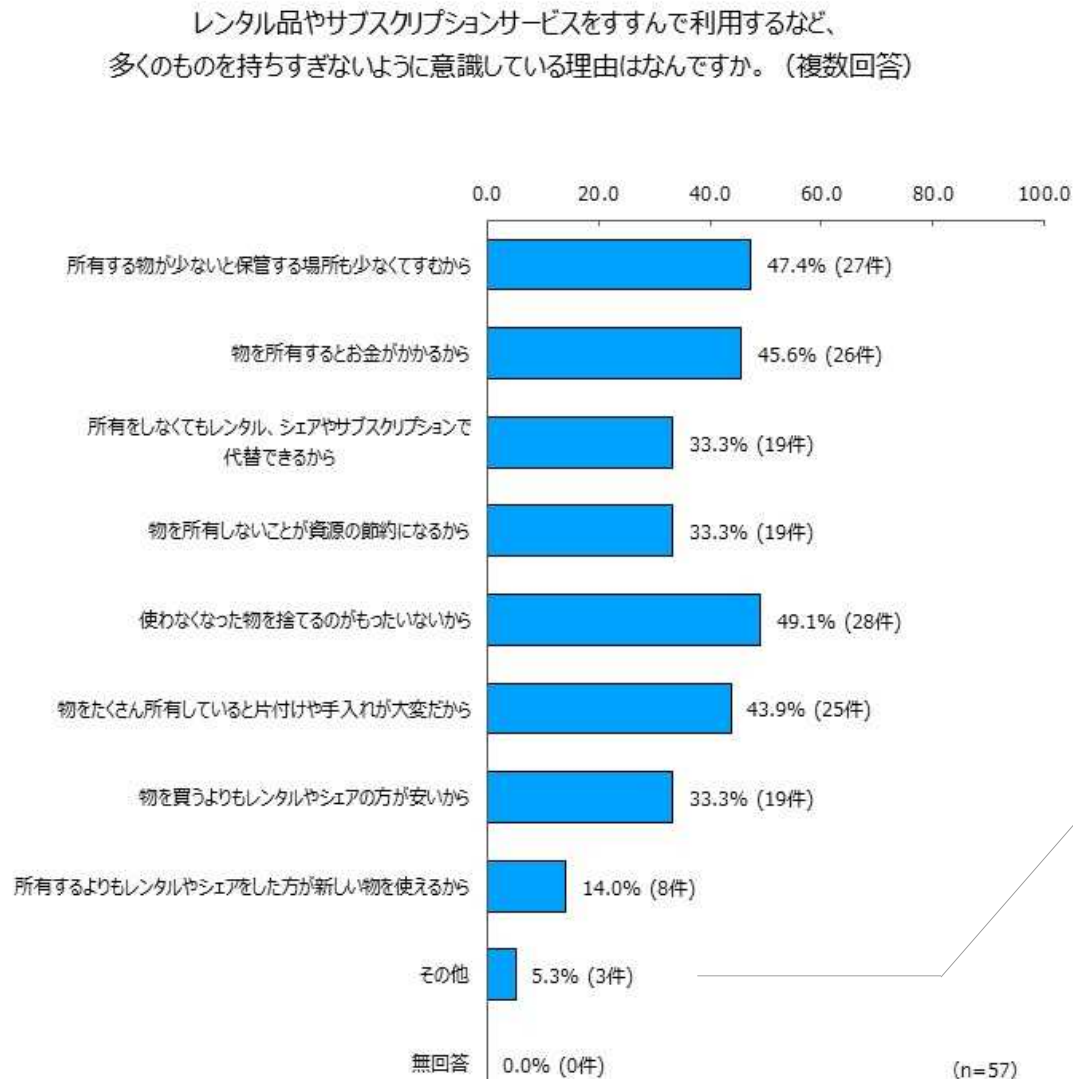


Q3-10. レンタル品やサブスクリプションサービスをすすんで利用するなど、多くものを持ちすぎないように普段意識していますか。

- 「意識しているが行動していない」が最も多く（35.6%）、次に「意識していない」（27.9%）が続きました。



Q3-11. レンタル品やサブスクリプションサービスをすすんで利用するなど、多くものを持ちすぎないように意識している理由はなんですか。(複数回答)



- 「使わなくなった物を捨てるのがもったいないから」が最も多く（49.1%）、次に「所有する物が少ないと保管する場所も少なくてすむから」が続きました（47.4%）。
- その他、「物を所有するとお金がかかるから」（45.6%）、「物をたくさん所有していると片づけや手入れが大変だから」（43.9%）にも票が集まりました。

その他の内容

何かを買っても結局使わなくなることがあるから

欲しいものがあまりないから



3. ごみ問題とリデュース、リユース、リサイクルについて

Q. 普段の生活の中で、ごみについてどう考えていますか。

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

ごみを減らす人が増えた

- 町中のごみ箱が減っているような感覚がある。マイバッグが増えてごみが減っているのではないか。(大学生)
- マイバッグを持ち歩いていて袋を買わない人を見かける。また、ごみ箱に分別して捨てる人や、ごみ箱がなければ持ち帰ることを徹底している人が多い気がする。(大学生)

ごみを減らすために取組をしている

- 普段はなるべくロスを出さないこと、多めに買わないこと、使い切ってから買うことを意識している。(高校生)
- 学校では、マイボトルを持っている人や、環境に配慮した服を着たりする人も多い。(大学生)
- 普段からごみが出ないようにしている。ものがごみにならない工夫やごみに出されない仕組みがあると良い。例えば問題集は問題と回答用紙を別にして、問題を再利用できるなど工夫があるといい。(高校生)

リユースがより必要

- ごみになるものをできるだけ再利用すればいい。燃やしてしまえばいいというものではない。(小学生)
- ごみの80%は「サーマルリサイクルされる」として燃やされている。その結果、二酸化炭素が排出されるので環境に良くない。熱回収ではなく循環利用としてリサイクルできるといい。プラスチックなどの過包装が多いので、売る方も気を付けてほしい。(高校生)

自治体ごとに分別方法が違う

- 自分が住んでいる自治体は分別を細かく求めているのに、他の自治体では、ごみは全部ごちゃまぜで捨てられると聞いた。分別の仕方に地域差があることが疑問。他の自治体では分別しなくていいとなると、意味がない気がしてしまう。(中学生)
- 住んでいる自治体ではなんでも燃えるごみで捨てられる。ごみの行方が分かれば分別で貢献できている実感が出る。自治体ごとに分別に違いがあると、細かく分別している人は微妙な気持ちになる。(中学生)
- 自治体によって分別の種類やごみの袋に違いがある。できるだけ分別方法は統一してほしい。(高校生)
- 分別の仕方が異なる理由はあると思うが、全国で「ごみは分別するもの」という意識が広がるとより資源が活用されると思う。(高校生)

ごみを減らす取組をより進めたい

- 学校では国の指定の教科書が配られるが、私立だと指定の教科書を配っても使わない学校が多くあると聞いた。全ての学校に国指定の教科書を配ると、ごみ増につながるのではないか。(高校生)
- ごみを減らす観点からすると、マイボトルを持ち歩いたりするのがよい。ただ夏場は衛生面で気になるので、ペットボトルが便利。(大学生)
- 再生できる素材でラッピングをしている企業がいい。(高校生)
- 燃えるごみにプラスチックなどが混ざっていることもあり、完璧に分別することは難しい。分別しやすい形にするなどの努力をしている企業のアピールがもっと知られるといい。(大学生)



3. ごみ問題とリデュース、リユース、リサイクルについて

Q.ものを長く使ったり、一度使ったものを再利用（リユース）、リサイクルしやすいように何か行動したり、意識していることがありますか。

ものを買うときに気を付けている

- ごみは買いすぎなければ増えない。あまり買すぎないように意識している。（小学生）
- 何か物を買う時にしっかり考えること。考えると、考えて買ったことが思い出になって捨てるようになるので、よく考えた結果としてものを買うようにしている。（高校生）
- 以前は安いけど粗悪品というものをよく買っていた。かわいいから1シーズン着られればいいと思っていた。しかし、「値段は張ってもいい生地を使っているから長く着られる」というものを買うようになった。（大学生）

ものを長く使うために工夫をしている

- デジタル機器を長く使うようにしている。雑に扱わないように気を付けたり、衝撃に強いケースを用いたり、修理している。レアメタルも大切にしていきたい。（大学生）



リサイクルを意識している

- プラスチックごみをリサイクルできるごみ箱にごみを入れるようにしている。（小学生）
- 博物館で江戸時代にはリサイクルの文化があったと知った。排泄物を田畑の肥料にしていたことや、割れた陶磁器のお茶碗を修理する商売があったと知り、再利用を心掛けるようになった。（高校生）

リユースしている

- 自分が使っていた本や服や絵具セットなどを、捨てずに親族に譲っている。（中学生）
- 新しく買ったり、余分なごみを排出したりすることはあまりない。食材の宅配サービスの一環で、使用した牛乳瓶の回収・洗浄や、紙パックの使いまわしの仕組みに参加している。衣服もアプリを利用するなどして地元で売り買いしている。衣服を捨てて、新しいものを公民館でもらうこともできる。そこでものリユース・リサイクルが成り立っている。（中学生）
- いらなくなったものを作りかえることが趣味になっている。地域のリユースマーケットで、一定以上売り上げると特定の団体に寄付ができて達成感を味わえた。環境に良いことをして達成感を味わえる経験がもっと広まるといいと思っている。（高校生）
- 参考書をクラスメイトにあげるなどして自分の使った教材が長く使えるようにしている。自分が勉強する時に使う参考書は古本屋で買うようにしている。（高校生）
- 学校で残飯を利用したコンポストを作った。残飯にお肉があると、病原菌が発生する可能性があり、コンポストから分ける必要があったので環境に配慮することは難しいと思った。（高校生）

リユースやリサイクルを広める方法を考える

- 色々な人が集まる場所で、再利用やリサイクルを「こういう風にやるといい」とやり方を紹介する機会があるといいと思う。（小学生）
- 大きなスクリーンでPR映像を流すとみんなが見てくれる。（小学生）

3. ごみ問題とリデュース、リユース、リサイクルについて

Q. もののレンタルサービスや中古品の利用についてどう感じますか。

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

中古品はよいところがある

- 自分の家の車も**中古品**だがきれい。(小学生)
- ものの再利用は非常に良いサービス。フリマアプリが普及して、誰かがいないものをもらうのが簡単になってリユースも進んでいる。(中学生)
- 環境問題の解決につながらなくても、中古品の貸し借りがあると、人と人とのつながりが生まれ、「自分ができることを人に何かやってあげよう」という気持ちの高まりにもつながると思った。(高校生)
- 自分は古本が好きで、70年以上前の本を持っている。また、昔の本と今の本とで環境問題というテーマであっても比較できたりして面白い。意外と今に通じるところがあったりする。(大学生)
- 親戚から着なくなった服をもらうが、前に使っている人が誰かわかるので、大切に使っていたとわかる。(高校生)



中古品はよくないところがある

- もののレンタルや中古品を買うことに賛成である。しかし本を古本屋で買うと、本の収益は作家に入らないので作家の生活が苦しくなると聞いた。CDでも同じ。作者の収益にはならないというネガティブな面もあると思う。(高校生)
- 中古品は安く買えるがときどき壊れている。(小学生)
- フリーマーケットやリサイクルショップだと、値段が高くてあまり買う気になれない。国の補助でももう少し安くできれば、みんなが利用しやすいと思う。1回利用すると安心できて、何回も利用すると思う。(小学生)
- 環境にいいと思っているから積極的に利用したいと思っている反面、前の人がどう使っていたかわからないので若干の抵抗もある。(高校生)
- 衣服のサブスクリプションは、必要な服だけ使えるという良さがあると思うが、輸送コストがかかる。昔のように地域ごとに近場でフリマが開催されれば、輸送コストの面でも環境に配慮できると思う。フリマアプリも輸送コストがかかっているだけだと思うことがある。使わなくなったものを知り合いからもらうことは自然なものの流れ。プライバシーも守られるので、地域で中古品が回るようになるといい。(高校生)
- 中古品を売った時に自分が得る利益があまりない。中古品取扱店に不要なものを持って行っても、買い取り額は大した額にならない。(高校生)

3. ごみ問題とリデュース、リユース、リサイクルについて

Q. もののレンタルサービスや中古品の利用についてどう感じますか。

流通させる環境がより必要

- 近所の人にあげようと思ってもあげる場所がない。近所の人には必要な物が似ているので、市役所などで中古品の受け渡しができる環境があるとリサイクルが進むと思う。(高校生)



古着が流行し利用が進みそう

- 古着がかっこいいという価値観が広がり、古着に抵抗がなくなっている人もいます。古着が流行していることも環境にとってはいいことなのかなと思う。(高校生)
- 前は誰かが使ったものや着たものに抵抗があったが、古着だとヴィンテージのものがあつたりして、誰かが使っていたり年数を経ているからこそ味があってよいというものがある。自分はレンタルに抵抗があるタイプではあるが、古着は着るようにしている。(大学生)



オンライン

レンタル利用は便利

- レンタルショップが近隣にあったのでよく使っている。最近ではテントのレンタルができるようになったらいい。キャンプ用品は大きいので、移動させたり、干したりするのが大変。気軽に利用できるレンタルは良いと思った。(大学生)



中古品という言葉が良くない

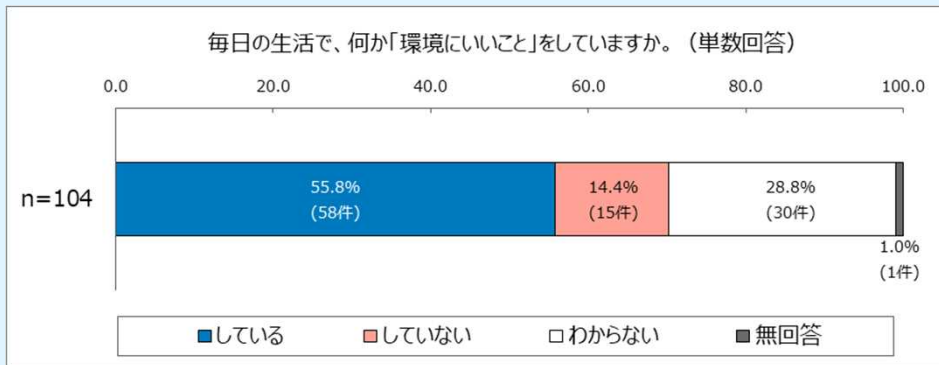
- 商品の一部を使っただけで中古品という言葉になってしまう。中古品という言葉が入るだけで欲しいものの選択肢から外れてしまうこともある。取捨選択をすればモノは使える。スーパーの値引きシールのついたものを買うのも、良い取り組みだと思う。(中学生)
- 古いという字が入るとイメージが悪いのかもしれない。(中学生)



4. 環境問題に対する行動について

アンケート

Q4-1. 毎日の生活で、何か環境にいいことをしていますか。 具体的にどんなことをしていますか。



ごみを出さない

- 野菜の切れ端など食べにくい部分はペットの餌として利用している。
- 食べ残しをしない。こまめに冷蔵庫内の食品をチェックして賞味期限を過ぎないようにする。
- 買った弁当の入れ物をリサイクルしている。ペットボトルの飲み物などは基本的に買わず、お茶などは自分で沸かしたものを飲んでいる。
- マイバックを常に持ち歩き、ペットボトルを買うのではなく、水筒を携帯し、中身がなくなった時は無料給水スポットで給水している。
- ビニール袋やプラスチック製のフォークを断る。
- 傘のビニール袋をあまり利用しないように雨の水を落としている。

ものを長く使う

- ものは無駄遣いせずきちんと最後まで使うようにしている。
- ものを修理して長く使う。

環境にやさしい商品を選択

- 買い物の際、容器包装の少ないものを選択したり、環境にやさしい商品を選択したりする。
- フェアトレード商品を意識して買っている。
- リサイクル製品を使っている。
- 詰替製品を利用したり、定期的に持ち物の整理を行ったりすることで必要なものを認識し以後買わないように意識している。



中古品を利用

- 中古品を利用する。
- 図書館で本を借りている。

リユース

- 使わなくなったものは、自分より小さい子にお下がりあげたりする。
- 机や台をふく時、着なくなった服を使う。
- 油を要らなくなった布を切ったもので拭いたり、ティッシュに染み込ませて再利用したりしている。アプリを使って、地域交流&リユースしてる。コンポストを使って庭の肥料に生ゴミを活用。物は8割が貰い物で普通の人々が簡単に手放してしまっているものを貰っている。食べ物もなるべくセール品を買うようにして、食品ロスを減らして、食べ残さずにきれいに食べることを心がけている。

4. 環境問題に対する行動について

アンケート

こどもまんなか
こども家庭庁

Q4-1. 毎日の生活で、何か環境にいいことをしていますか。 具体的にどんなことをしていますか。

リサイクル

- リサイクルできそうなものは、リサイクルできるように洗あらっている。
- コンタクトレンズの空き容器ようきをリサイクルに出している。

ごみの分別

- 生ごみは、水分を飛ばして捨すてる。



ゴミ拾い・清掃活動せいそう

- ゴミ拾い活動。
- 学校近くの海岸清掃をしている。
- 下校時にゴミ拾い。月に1回のボランティアさんかの参加。



節電・節水せつ

- 電気をこまめに消す。
- 水の節約れいぼう、冷房だんぼう、暖房やくの節約。
- 夜はデスクの電気のみで勉強したり、お風呂ふろを沸わかしているときは、お風呂の電気を消している。

交通手段

- 移動いどうする時は、近場だったら歩いて行く。
- 自転車での登下校
- 自動車きかんでなく公共交通機関を利用して通学している。
- 電気自動車を使う。
- 車やタクシーの利用さを避けたり、再エネ比率さいが高い電力会社ひりつを家族えらと選んだり、使い捨てプラを使わないよう気をつけたりする。

生き物を大事にする

- いきものが大好きなので、絶滅危惧種ぜつめつきくしゆを見つけて保護ほごしてあげたいのでいつも探さがしている。



環境について考える

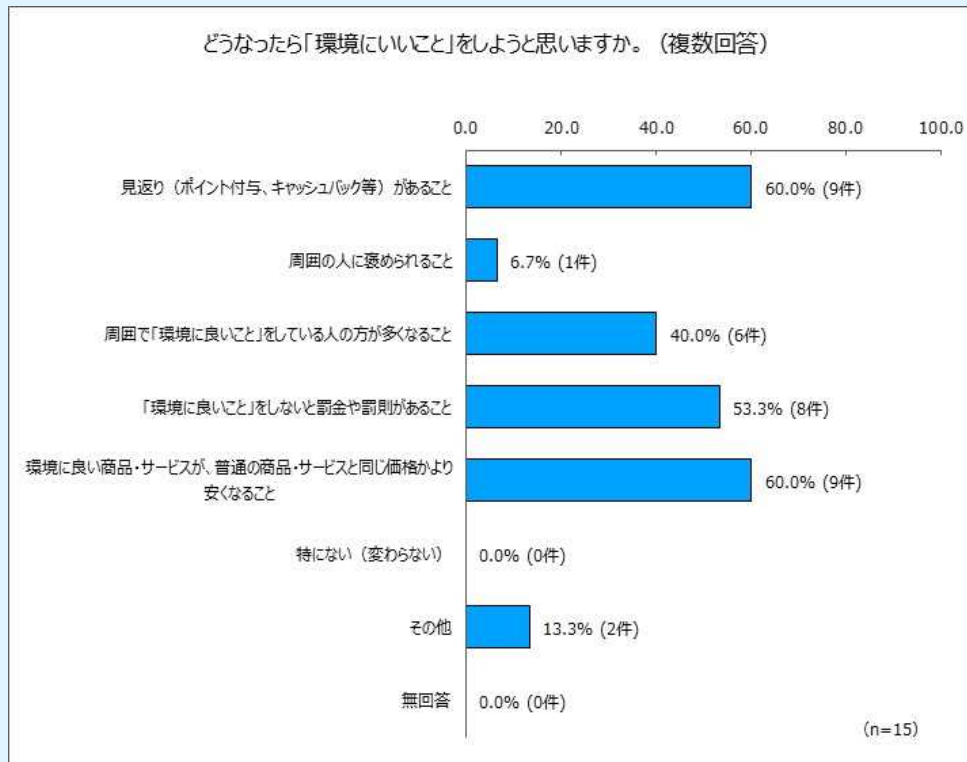
- 環境問題についてなるべく情報じょうほうを集め、考えるようにしている。
- 環境問題について様々な学習をしたりしている。



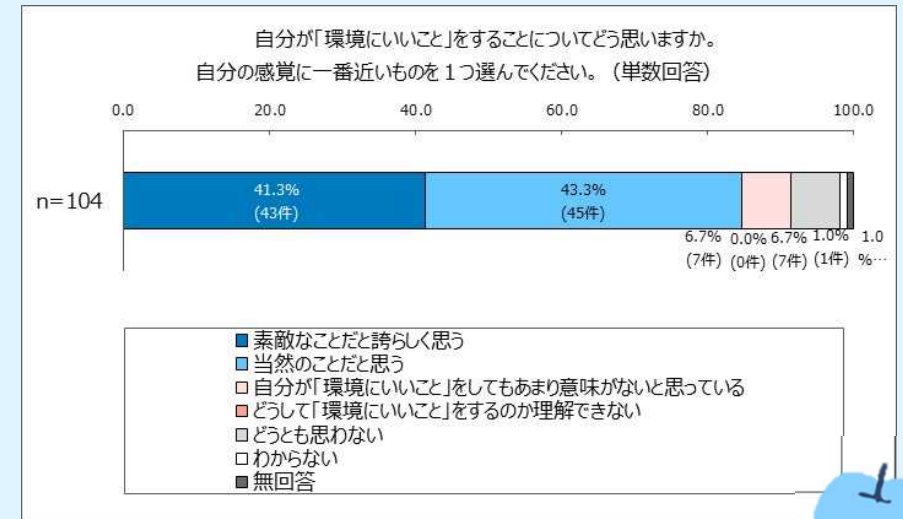
4. 環境問題に対する行動について

アンケート

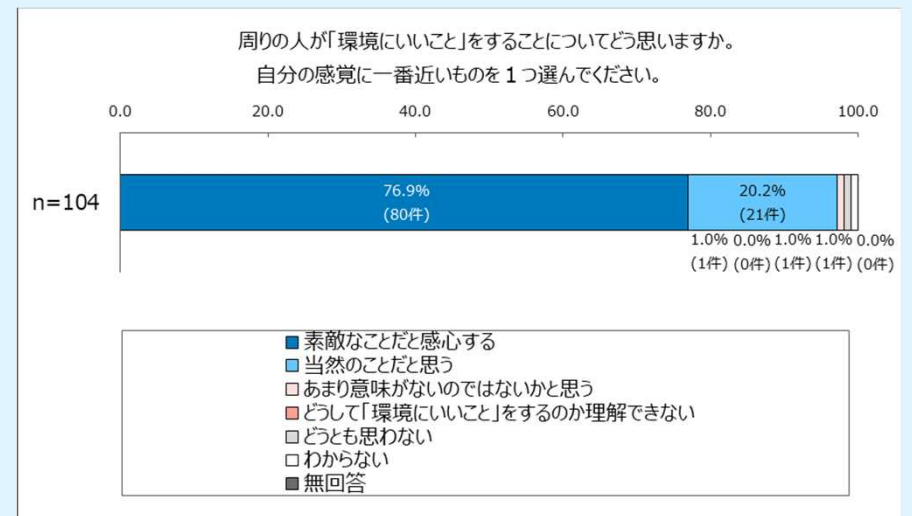
Q4-2. どうなったら「環境にいいこと」をしようと思いますか。



Q4-3. 自分が「環境にいいこと」をすることについてどう思いますか。



Q4-4. 周りの人が「環境にいいこと」をすることについてどう思いますか。



Q4-5. より積極的に環境問題に取り組むためには、どのような仕組みやツール（例えば動画や資料等）があるとよいと思いますか。

動画

- 気候変動の対策についてのテレビCMを出したり、SNSの広告などで配信したりし、環境対策を行ってもらうようにする。
- こどもにも分かりやすい、漫画を使った資料やこどもが親しみやすいようなキャラクター、動画などをつくる。
- 環境問題のせいで、今どれだけの人が困っているかの動画などをつくる。
- 何年後はこうなっているよという予想を動画にする。（異常気象、海面上昇など）
- 現状を見せて「考えていこうね」というメッセージ性の動画は多くある気がするが、具体的にできそうな取組がもう少し紹介されるといいと思う。
- 国会議員や県議会議員が自然にゴミを拾うようにし、その姿を国民に見せる。



写真などの資料

- 環境問題について自分ができることでどのような環境に良い影響を与えることができているのかを図や画像などで簡単に知ることができる資料。
- どんな風にリサイクルされるか分かりやすい写真があるといい。

ポスター・広告

- 環境問題について自分ができることでどのような環境に良い影響を与えることができているのかを図や画像などで簡単に知ることができる資料。

地方の環境問題に特化した内容を発信

- 地方では、身近に緑がたくさんあり、環境汚染などが進んでるように感じられない。地方用のコンテンツを発信しないと、都会だけの問題だと思われる。

環境保護への否定的な考え方への反論を発信

- 昨今の陰謀論や環境保護への否定的な考え方に反論する形で広報するとインパクトがあると思う。やはり環境保護に取り組む重要性や今後の地球に対する危機感は計り知れず、それを理解できていない人が多い気がする。

ボランティア活動

- 池などの水抜きや海辺や水辺のゴミ拾いなどの小学生ボランティア募集をもっとしてほしい。
- 社会のために活躍しているボランティアを支援する仕組みがあると良い。

イベント実施

- 呼びかけするだけでは意識はあまり変わらないと思うので実際に問題に取り組む仕組み(みんなで分別に取り組もう、などのイベント)をつくとよい。

Q4-5.より積極的に環境問題に取り組むためには、どのような仕組みやツール（例えば動画や資料等）があるとよいと思いますか。

学校教育

- 動画や資料があり、それをネットに掲載したとしても、多くの人はそれを見ないと思う。身近な場面で活用することで、ようやく人々は環境問題と自身の行動に対する意識を持つことができると思う。ネットではなく、もっと学校やスーパーなどの身近に利用する場所を活用するべき。
- 小学校で教える。家族で取り組む。
- 学校などで普段の自分の生活や行動で、どれくらい温室効果ガスが排出しているかのシミュレーションのようなことができれば、意識向上につながると思う。
- 現状をまず知るために、学校教育として、街のゴミ拾いや校外学習で体感する。相当頑張らないと改善しないので、義務化する。

大人向けの学習機会

- 環境問題について政治家や企業のトップの人々が学ぶための学習会。環境問題について多くの人が学ぶための学習会。

動植物との触れ合いの機会をつくる

- 実際に生き物とたくさん触れ合うことによって「ヒト」と目線からではなく、生き物や自然の目線になって環境と向き合えると思う。



環境問題に取り組むとメリットがある仕組み

- 環境問題が解決されると例えば、農作物の収穫量が増え価格が安くなるといったように身近な所に反映されるメリットをあげる。
- 環境問題に取り組んだら、ポイントがもらえる。そのポイントを何かと換えられたり、お店で商品が割引になったりする仕組み。
- 環境問題解決のために取り組んでいる商品を購入した際に、その他の商品と同程度の価格になるように購入者に一部のお金が(ポイントなどとして)還元されるシステム。
- 環境に良い製品の需要が高まり、環境によいものを得ることで儲かる仕組みが出来ると良いと思う。
- 環境問題に取り組んでいる人が得をし、環境に負荷をかけている人や団体、企業は損をするような仕組みを作ると良いと思う。

企業が環境問題に取り組む

- コンビニの24時間営業をやめるなど、企業側の努力も必要だと思う。

環境問題に取り組む企業への支援

- 環境問題に積極的に取り組んでいる企業などを優遇し、そうでない企業には新たな税金を課す。
- 国は水素エンジンの開発をしている企業に支援してほしい。

4. 環境問題に対する行動について

Q. 環境に良いことをする人についてどう思いますか。

素敵だと感じる

- 環境問題を自分事として捉えて行動する事が大事だと思う。環境にいい行動をアピールするのではなく、自然に生活に取り入れている人は尊敬できる。(高校生)
- 自分が住んでいる自治体ではプラスチックを洗浄したりリサイクルしたりする会社が減っている。その中で環境のために頑張っている人がいることを知ると感謝しかない。環境のことを知るだけでも時間を費やすのに、行動もできる人は本当にすごいと思う。(中学生)

発信が重要

- 環境にいいことをすることについてのポジティブな発信が大事。例えば、使用した電気量に応じて環境への貢献度がわかったり、貢献度によってポイントがもらえたりするとか、ゴミ袋に「何々をすると、何々に貢献できます」などポジティブな内容が書いてあるといい。(高校生)



教育者の存在が重要

- 環境教育をしている人の存在が大きいと感じる。自分やアルバイト先の子どもたちが環境保全について意識高くなるのは、教育のおかげ。学校の先生は、「環境保護について自分が知らないと言われ、教えられない」と言って、伝えてくれている。(大学生)

オンライン

環境に関心のある人/ない人の意識の差が大きい

- 周りの友達は環境への興味が薄い。環境の話ばかりしていると、細かいと言われる。面倒くさい人だと思われると、友達との間に壁ができてしまうこともあるので、気軽に環境の話ができないこともあるのではないかと。(中学生)
- 環境問題に全く興味がないという人はあまりいないかもしれないが、興味関心を深めようとする人は少ないと思う。カフェで紙ストローを渡されたとき、友達が「飲みにくいから嫌だ」と言っていて、自分の欲を優先させすぎじゃないかなと思ったことがある。周りも巻き込んで環境問題に取り組みたい。(中学生)



本当に環境に良い行動かは吟味が必要

- やろうとしていることが本当に環境に良いかは吟味する必要があると思う。例えば、紙とプラスチックストローはどちらが本当に環境にいいのかは検討が必要な問題。紙を処理するための洗剤や水も一定量必要になるし、どっちもどっちだ。(中学生)



4. 環境問題に対する行動について

Q. 環境に良いことをする人が増えるためにどのような仕組みやツール（例えば動画や資料等）が必要だと思いますか。

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

イベント・SNSなどによる発信

- 「あなたの30年後の未来はどうなっていると思いますか」と汚れているプラスチックごみがたまったビーチの映像を使ったCMを流すと、海が汚いことに気づけて、「ごみを捨てない方が良い」と思う人が増えると思う。（小学生）
- 見る人が多いSNSで配信するのが一番早いのではないかと思う。今の時代はオンラインツールなどで身近に感じてもらえるよう情報を提供していくことが大切。この前、YouTuberが財務省などとコラボしていた。環境省もコラボできるのではないか。（中学生）
- 教育の一環として地域のおじいちゃん・おばあちゃん世代と子どもをマッチングさせてごみ拾いをしてもらうのはどうか。格好いい服を用意して、周りの人にごみ拾いしていることをアピールし、目立つ場所で活動すればニュースも取り上げてくれそう。ごみ拾いを地域対抗型にすれば、学校ごとに楽しんで環境問題について考えていけると思う。まずは身近なごみ問題について取り組んでいくことがいいと思う。（高校生）

環境問題へのアクションを促す サイト・アプリをまとめたサイト・アプリ

- 環境へのアクションを促すサイトやアプリをまとめて、カテゴリ化できたら見やすくなると思う。寄付したい人向けアプリ、実際に自分が行動してみたい人向けアプリ、情報を知りたい人向けのサイトなど。（中学生）



環境問題に関心がある人がつながれる場づくり

- 自分1人が行動しても変わらないと思う人もいそう。環境問題に関心がある人が集まるプラットフォームがあるといい。（高校生）
- 環境に関心を持つ人とつながれる場や一緒に行動できる機会があると、環境に関心を持つ人が行動しやすいと思う。（高校生）

環境問題に取り組むとうれしくなる・ 楽しくなる仕組みづくり

- 規制ばかり増やして何もかも禁止にして窮屈な生活にするよりは、楽しんで環境問題に取り組めることが必要だと思う。以前、カプセルトイのコーナーに、空のカプセルを入れるとガラガラと回って楽しめる空カプセル回収用のリサイクルボックスがあった。（大学生）
- 一人一人の責任感や行動によって環境が変わることを教育で周知し、環境問題に関心がある人同士で話し合えるといい。何か利益がないと環境にいい行動はできないので、動機づけが必要。（高校生）



4. 環境問題に対する行動について

Q. 環境に良いことをする人が増えるためにどのような仕組みやツール（例えば動画や資料等）が必要だと思いますか。

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

環境問題への取組が ポジティブにフィードバックされる仕組み

- 「〇〇をこれだけ集めるとこんなにたくさんの××に生まれ変わる！」というように、分別するときやる気になるようなデザインをゴミ箱や収集車に施したり、包装に書いてあったりと、小さい行動のポジティブな面の周知。（高校生）
- 電気量で貢献したなどポイントを知れたり、ごみが何に生まれ変わるかをゴミ袋に書いてあったりなど、目に留まるかつポジティブな内容での広報があると環境にいい行動をとりやすい。（高校生）



企業の環境意識を向上させる仕組み

- 政府がプラスチックの使用を止めることを大手企業に伝える取組をしてほしい。少くも売上が落ちて大丈夫そうな大手企業の方がプラスチックの使用を止めることに取り組みやすいと思う（小学生）
- SDGsの活動を掲げている企業が、本当は環境に配慮していないのに環境に配慮しているように見せるグリーンウォッシュをしているのではないかと懸念もあるので、本当に環境に良いことについて考える機会があれば良いと思う。（高校生）
- グリーンウォッシュについて、工場がSDGsに本当に貢献しているのかを知るために工場見学ができたり、企業が環境問題に対して何をしているか実際に聞けたりする場面があると良い。（高校生）

環境に配慮した製品を 買いやすくする仕組み

- ガソリン車ではなくハイブリッド車や電気自動車を選ぶことで二酸化炭素の排出が減るので環境にいい。国が自動車メーカーにお願いして環境に優しい車をもう少し安くできないか、交渉してもらえるといい。（小学生）
- 国の電気自動車に対する補助金があるが、少しか補助されない。補助額をもう少し増やすと電気自動車を買う人も増えて、二酸化炭素を排出する車が減るのではないかな。（小学生）
- 環境に配慮した高いものと、そうでない安いものがある場合、安い方を選んでしまう。環境に配慮したブランドはあるが、割高と感じる。環境に配慮したものの価格が安くなったり、ブランド同士と一緒に活動して安く提供してくれたりするといい。（高校生）

幼少期に自然と触れ合う体験をすること

- 未来を担う子どもたちが自然とともに生きることが大事だと思う。自然を守ったり活かしたりする意識のある子どもが宅地化や都市化の影響で減ってきたと思う。自然のかけがえのなさ、活かせるということを五感で知ることが大事。こどもの原体験はすごく大切になると考えているので、子どもが気軽に自然に親しめる場所が増えてほしい。（大学生）
- 近くの保育園は自然と触れ合う場が多い。その保育園出身の子は環境問題など自然に対する意識が強く、学童のおやつ時間に「ごみの捨て方はこれでいいんだよね」と聞いてくることもある。こどものころの体験はすごく重要になると思うので、都市部に住んでいる人でも自然に触れあえる体験を増やしていくのがよいと思う。（大学生）

4. 環境問題に対する行動について

Q. 環境に良いことをする人が増えるためにどのような仕組みやツール（例えば動画や資料等）が必要だと思いますか。

オンライン

こどもまんが
こども家庭庁

学校教育

- 学校でアパレル企業や省庁の人が来てSDGsの授業をしてくれた。授業を受けて子どもがその授業の内容を親に教えると、ママ友や友達などいろんなところに知れ渡っていくと思う。特別な人が来て授業をしてくれるとワクワク感があるのでいい。（小学生）
- 学校で環境の授業を必須にすると、みんな興味がわいて環境への取組を当たり前になってくれるかもしれない。（小学生）
- 友達と話していて環境の話題が出てこないから、自分も環境の話を持ちたい。環境の授業を増やすなどして、小さい頃から知識があることが常識になれば、環境に対する意識のレベルも上がるのではないか。（中学生）
- 環境が危ないということが体感できる施設があったり、教科書にももっと環境問題を取り入れて授業で扱ったりするといい。ごみ処理場などの環境関連の施設に校外学習で行くのもいいと思う。まずは関心を持たせることが大事。（中学生）
- ハワイではプラスチックバッグが原則禁止でそれが当たり前になっている。日本でも、次の世代からは「プラスチックに代わるなにかエコなもの」を常識化していく必要があるのではないか。（中学生）



大人も環境について 知ることができる機会づくり

- 子どもと同じように、お年寄りにも環境への取組をしてもらうことが重要だと思う。「環境問題には子どもや孫の将来がかかっている」ともっと危機感を持ってもらえるようにし、年齢・性別関係なく環境問題へ取り組んでもらう姿勢が大切だと思う。（大学生）
- 大人が子どもと一緒に環境に関するイベント等に参加すると発見もある。日本では気候変動や動植物への意識が低いということがあるので、生き物たちからすぐ利益をもらっていると大人にも広めれば、私たちが自然の上で生きていくとわかると思う。（大学生）
- 自然災害が増えてきて、それに伴って都市部でも地域での防災訓練が増えている印象。そうした人が集まる場で、大人も一緒に受けてみようとなるような、子ども向けでない環境教育をやっていくことも大事なかなと思った。（大学生）
- 地方の方は環境への意識が高いことが多い。都市部の方も、持続可能性や生物多様性に配慮した六次産業の木工製品や蜂蜜などの食品を購入することで、地方の環境に対する意識が伝わるかもしれない。（大学生）
- 旅行会社・鉄道会社・宿泊関係の方に協力してもらい、大人の環境教育ツアーのエコツーリズムを大々的に実行するのはどうか。（大学生）

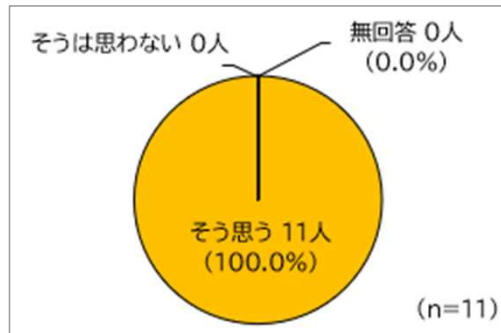


参加者アンケート (一部を抜粋して掲載)

オンライン

こどもまんが
こども家庭庁

「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？

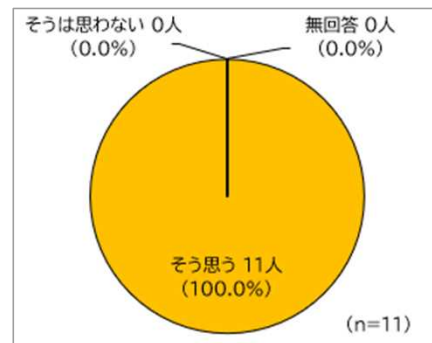


「そう思う」の理由 (自由回答)

- 普段なら話すことのない世代の人と、環境問題について十分に話すことができたから。また、普段は大人の政治の世界からこどもははじき出されている感じがして、将来を生きる期間は、今政治をしている大人より私たちの世代の方が長いのに、なぜ私たちの世代が望むことが何かを聞かれないのだろうと感じていたが、今回の回では少しでも将来につながるのかなと感じることができたから。
- 学校外の同世代の方と、環境問題に対してどのような意見・考えを持っているか、それぞれの地域でどのような取り組みをしているかを話すことができたため。とても刺激になった。また、自身が日頃環境に対して考えていることについて改めて見直し、意識し直すことができた。



今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと (自由回答)

- もっと時間があつたら、もっと話げたのことは思います。
- ○○をこれだけ集めるとこんなに沢山の××に生まれ変わる！！というような分別するときにやる気になるようなデザインをゴミ箱や収集車に施したり、包装に書いてあつたり、小さい行動のポジティブな面の周知が多くなつてほしいです。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

- せっかく環境問題に興味のある同世代と知り合つことができたので、参加者同士でもっと自由に話したり、(セキュリティ上難しい面もあると思うが) 連絡先を交換したりする時間があるとより良かった。

- 都市部だけでなく、いろんな県の人が集まつてるのが良かった。

- 環境問題に対する周知の仕方がネガティブなもの(○○が出来なくなる！のような)に偏つていて感じていた自分の印象を共感してもらえたり、新たなアイデアを聴くことができてよかったです。

